
講 演

會 長 就 任 挨 拶

會 長 大 橋 幹 一

(昭和 19 年 4 月 28 日於通常總會)

今回計らずも、會員諸君の御推薦に依り名譽ある電氣通信學會々長の重職に選任せられましたことは不肖なる私の誠に光榮とすると共に其責任の重大を感じるところであります。

電氣通信學會は創立以來既に約三十年を閲し、此間における電氣通信學術の進歩と之を基礎とする幾多事業の發榮とが互に因となり、果となつて、學會今日の隆盛を見るに至つたのでありまして、宛然、皇國發展の縮圖を茲に見る氣持がいたすのであります。

私は約五年前ドイツに參つた際彼地の學者に本學會英文號を見せて、會員數五千名と申しました處、彼等は日本の電氣通信技術者の豫想外に多數なるに驚き、且學術論文の優秀なるも所以ある哉と嘆稱したのであります。

然るに今日僅か數年を経て會員數は一萬名を超過するに至つた事は一つに國力の充實を反映するものであり御同慶に堪へない次第であります。特に今日は敵を攻めるにも、國土を守るにも通信技術に依るところ極めて大なるを思ふ時、愈々此感を深くするのでありますそれにつけても私は此學會の初期より今日に至る迄の間歴代會長並に會員諸氏の經營努力の並々ならぬものあつたことを伺つて誠に感謝に堪へないものがあるのであります。

我國の電氣通信學界は、先覺技術者の卓見によつて夙に最新技術の移入に努めて來たのであります我國

独自の技術を發展さすに至つたのは比較的新しい事に屬します。大學、研究所等で基礎を培はれたものが、通信事業運営の積極性によつて拍車をかけられ、生産分野もまた之が開發、助長に力をいたし、其温床に電氣通信學術を育み極めて順調なる成長を遂げしめたのであります。

私は唯此有難い境遇に育てられた我通信技術、學術に一つの惜しむべき習癖が無かつたと云へないと考へます。此意味からいふと通信技術といふよりは弱電技術と云つた方が或は良かつたのかも知れません(反對に或場合は通信技術と云つた方がよく當嵌まる場合もある)多くの通信技術者は(私は其一人と思ひますが)此技術、學問の廣い分野を忘れて一つの型にはまつた通信と云ふ枠の中に活動の分野を求めるものが多くて、これより一步外に出やうと考へる者が渺ない様に思はれました、然も通信領域の中にて、更に既成通信技術を默守する傾向が強かつたのであります。

然るに時局は急變いたしました、我國は總力を擧げて皇國隆替の大決戦に立上がつたのであります、苟も通信技術に携はるものは國家の要請に應じて直接、電波兵器、音響兵器等の研究、生産に奮起し、或は國土防衛施設の建設整備に寢食を忘れて立働くに至つたのであります、教養、慰安の手段と考へられてゐた放送も今では最も大切な言論戰の要塞と考へらるるに至りました。

國家は新しい認識を以て通信技術（弱電技術）を見直し、之に希望をつなぎ、責任を託してゐるのであります。通信技術者たるもの奮起せざるを得ないのであります。私は今日、此國家非常の時に當り本學會々員の各自が如何に活躍してゐるかといふ事を考へまして此點につき今更蛇足をつける要を認めないのであります。

本學會定款第十二條を見ますと「本會ハ電気通信ニ關スル學術技藝ノ考究、知識ノ交換ヲ爲シ且之ニ關スル事業ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス」とあります、今本會々員が日頃考究研鑽されたる所を以て現重大時局に當り國家重要の人物として夫々寢食を忘れて活躍してゐられるといふ事實は過去三十年間に於て本學會の目的が極めて高度に達成せられて來たことを示めすものでありまして、皇國に對する責任の一部を果たしたものと云ふことが出来るのであります。

然し敵國の技術は誠に侮り難きものと聞いてをります、我々は今日過去の總ての善積を悉く此聖戰完遂に捧げねばならないのであります。本年度に於ても會員諸氏の一層の御奮闘をお願いいたす次第であり

ます。

學會は目下、職員の減少、紙の減配、印刷の不如意等幾多困難なる事情下にある様であります、此狀勢は恐らく一層深刻になつて參ることでありませう、今は會員各自が活動する時期であつて、團體的活動には極めて都合の悪い時と云へませう。然しかかる多忙な時は技術の急速な躍進を遂げる時期であり同時にまた便宜主義に墮して正しい學問の傳統の失はれ易い時期でもありますからこれを正しく傳へることは大切であります、又各階層の多數の技術者の誘掖も大切な事であります。又通信技術者は現下所謂廣い領域を極力開拓しつつあるのでありますから、之を我通信學會に適當な方法にて取入れ消化するといふ事も極めて大切な事だと考へる次第であります。

私は學會運営の極めて困難なる今日、會長に就任いたし責任の重大を痛感いたしてをります、何うか會員諸君の心からなる御支援を御願ひいたします、學會事務所の方々にも極めて働きにくい時でありお氣の毒に存するのであります、此上とも御清酬をお願いいたします。